

令和2年8月25日

保護者 様

四万十市立中村南小学校
校長 今城 季紹

学校における新型コロナウイルス感染症対策へのご協力について

今日から2学期が始まり、子どもたちの元気な声が学校に響いています。一方で、新型コロナウイルス感染症が全国で拡大しており、学校の感染症対策も、これまで同様に行っていく必要があります。

新型コロナウイルス感染症について、国内外での感染状況を見ると、これからは、この新たな感染症とともに社会で生きていく必要があります。学校においては、感染症対策を徹底したとしても、感染リスクをゼロにすることは困難ですが、感染及び拡大のリスクをできるだけ低減しつつ、教育活動を行い、子どもたちの健やかな成長と学びを保障していくことが大切だと考えます。

保護者のみなさんには、以下の学校における新型コロナウイルス感染症対策をご確認いただき、朝の検温及び健康観察、マスクの着用等のご協力を引き続き、よろしくお願いいたします。感染防止のための対応は、児童はもちろんのこと、その保護者や家族、教職員、地域の方々等、すべての人の健康と安全を守るためです。今後も引き続き、ご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

1 朝の検温及び健康状態の確認について

- 毎朝、必ず検温をお願いします。本読みカードに、検温と風邪症状（のどの痛み、せき、鼻水等）の有無を記入する欄がありますので、必ずご家庭で記入をお願いします。 検温ができていない児童については、登校後、保健室にて検温を行います。
- 発熱等の風邪の症状があった場合は無理をして登校せず、自宅で休養するようにしてください。 その場合は、学校にもお知らせください。

2 マスクの着用について

- 学校での生活は、教室で学習することが多く人の密度を下げることには限界があるため、学校にいるときには、マスクを着用するようにします。必ず、マスクの準備をお願いします。
- 体育の授業や休み時間に運動を行う場合など、気温の上昇に伴いマスクを着用して活動することで危険を伴う可能性がある時は、児童同士が十分な間隔をとったうえでマスクを外して活動するようにします。

3 手洗いの徹底について

- 学校では、接触感染を避ける方法として、手洗いを徹底します。 様々な場所に、ウイルスが付着している可能性があるため、外から教室に入る時やトイレの後、給食の前後など、水と石けんで30秒以上かけて丁寧に洗うよう指導します。 家庭でも、手洗いの徹底をお願いします。
- 手を拭くタオルやハンカチ等は、共用しないよう指導しています。各家庭で必ず、準備をお願いします。
- 手指用の消毒液は、石けんで手洗いができない場合に、使用するようになります。学校に備え付けているものは、来客用で、子どもたちは基本的には使用しません。

4 その他

- 学校では、児童がよく手に触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）などは、1日に1回、消毒を行います。
- これまでと同様、出かける場合は、マスクを着用したり、アルコール消毒や手洗いをしたりするなど、感染症対策もお願いします。
- 3つの条件「換気の悪い密閉空間」「大勢がいる密集場所」「間近で会話する密接場面」が同時に重なる場を避けるようにお願いします。
- 他校の参観日や運動会等の学校行事には、新型コロナウイルス感染症対策のため、原則、参観や参加しないように子どもたちには指導しています。（四万十市内のすべての学校で、同様の指導をしています。）
- 不安や悩みなどの相談窓口として、心の教育センターや「24時間子供SOSダイヤル」等も活用できます。
 - ☆心の教育センター（088-866-0900）
 - ☆24時間子供SOSダイヤル（0120-0-78310）
- 新型コロナウイルス感染症に罹患した場合や濃厚接触者となった場合は、学校まで連絡をお願いします。

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧_に洗う。（手指消毒薬の使用も可）



※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝の体温測定、健康チェック、発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

